

# I 令和8年度 概要

## ○ 検診（健診）事業

巡回検診は、受診率の減少傾向と対象人口の減少を考慮して受診数減少の計画としましたが、セット検診や休日検診、夜間検診で受診機会を増やし、受診者確保に努めます。

施設健診は、子育て世代を対象としたママ健診（午後健診）の実施や、継続的な営業活動を行い新規受診者の獲得に取り組むことで受診数増加の計画としました。

テレビCMを放映し、がんの早期発見の重要性や、岩手医大との円滑な連携体制を県民へ周知し、受診促進につなげていきます。

## ○ 機器の整備

JKA補助金を活用した胃がん検診車の更新のほか、超音波診断装置等の医療機器の整備を行い、検診の質と作業効率の向上を図ります。また、医療DXの推進に先立ち、Web問診およびWeb予約システムを導入し、受診者の利便性向上を図ります。

## ○ 予算

がん検診収入は、受診数減少に伴い、減収の見込みとし、生活習慣病健診収入は、受診数増加に加え、協会けんぽの人間ドック補助増額によりドック受診者が増えると見込まれることから、増収を見込みました。

事業支出は、事務システムのIT化等により人件費は減少しましたが、放射線機器の高額な部品交換等の修繕費増加により、前年度比で4,060千円の増加。それにより、営業利益24,179千円、当期利益24,154千円を見込む予算としました。

### 令和8年度予算損益計算書:対比表

(単位：千円)

科目	A:R8年度予算	B:R7年度予算	増減(A-B)
事業収入	1,638,855	1,636,695	2,160
がん検診収入	930,109	974,244	▲44,135
生活習慣病健診収入	705,706	659,394	46,312
その他収入	3,040	3,057	▲17
事業支出	1,614,676	1,610,616	4,060
人件費	750,981	766,081	▲15,100
その他事業費	863,695	844,535	19,160
営業利益	24,179	26,079	▲1,900
営業外収入	7,761	31,953	▲24,192
営業外費用	7,764	8,240	▲476
納税充当金	22	22	0
当期利益	24,154	49,770	▲25,616

## Ⅱ 事業計画

### 1 検診（健診）事業

巡回検診及び施設健診等を実施します。

また、精密検査が必要な方を対象に、内視鏡検査等を実施します。

#### (1) 巡回検診

(単位：件)

検診・検査種目		令和8年度	令和7年度	
		実施計画数	計画数	実績※
① 胃がん検診		65,200	70,440	68,671
② 子宮頸がん検診	検診車	18,270	19,410	18,839
	日母方式	12,392	13,155	9,197
③ 胸部検診	撮影	16,190	17,800	16,890
	肺がん読影	9,100	10,230	9,638
	喀痰	1,229	1,389	1,256
	結核読影	14,570	15,720	14,992
④ 乳がん検診	エックス線検査	25,500	26,410	25,262
	超音波	2,350	2,520	2,438
⑤ 大腸がん検診		77,640	81,630	80,304
⑥ 肝臓・胆のう・膵臓・腎臓超音波検診		14,200	14,700	13,197
⑦ その他検診		1,070	1,090	787
計		257,711	274,494	261,471

#### (2) 施設健診

(単位：件)

検(健)診・検査種目		令和8年度	令和7年度	
		実施計画数	計画数	実績※
① 生活習慣病予防健診（協会けんぽ）		23,277	22,025	21,149
② 生活習慣病予防健診（協会けんぽ外）		8,426	7,521	7,397
③ 特定健診		5,125	5,264	4,639
④ 定期健診		7,578	6,950	6,613
⑤ 住民がん検診		10,265	10,155	9,132
⑥ オプション検査		36,411	35,883	33,982
⑦ 診療所（胃・大腸内視鏡検査、ピロリ菌除菌誘）		500	369	407
⑧ その他		1,954	1,829	1,620
計		93,536	89,996	84,939

※令和8年1月31日現在

### (3) 事業推進活動

#### 【巡回検診】

- ① 受診率向上に向けた取り組み
  - ・受診勧奨、再勧奨(コール・リコール)を実施します。また、市町村が独自で実施する受診勧奨を支援します。
  - ・検診対象者および企業退職後、国保等に切り替わる方へ、科学的根拠に基づくがん予防をまとめたリーフレットを配布します。
  - ・受診者の利便性を考慮した検診(休日検診、夜間検診、他検診機関との連携含むセット検診)を実施します。また、乳がん検診、子宮頸がん検診、骨粗鬆症検診をセットで実施します。
  - ・ピロリ菌感染歴がある方に、胃がん検診を受診するよう働きかけます。
- ② 精度管理の周知
  - ・要精検率、がん発見率等のデータを印刷物に掲載し、実施主体へ配布します。
  - ・がん検診成績や全国認定医療機関の情報をQRコード化し、結果通知書やリーフレットに掲載します。
- ③ 市町村検診の受け漏れを補うため、年度末に地元スーパー2社と連携して大腸がん検診の検査キットを販売します。
- ④ 胃がん検診対象年齢未満の若年者を対象に、ピロリ菌検診を実施します。
- ⑤ 肺がんエックス線検診にAI診断補助を用い、精度の高い検診を実施します。
- ⑥ 巡回検診で受け漏れた方に、当協会の施設健診を案内します。

#### 【施設健診】

- ① 未受診事業所に営業活動を行います。
- ② 希望する市町村や事業所に、巡回での生活習慣病予防健診、特定健診、がん検診を実施します。
- ③ 受診者へ健診結果を説明する際、その場で紹介状や情報提供書を渡すなど、医療機関とスムーズに連携できるようにします。
- ④ オプション検査の充実を図り、必要な方に受診を勧めます。
- ⑤ AI診断補助を用いる等、精度の高い健診を実施します。
- ⑥ 午後に子連れで検診できる日を設け、子育て世代の女性が子宮頸がん検診を受診しやすい環境を整備し保健所や保育施設へチラシ配布を行い対象者へ周知します。
- ⑦ 希望者に栄養指導を実施します。
- ⑧ デジタル技術を活用し、サービスの向上や、業務の効率化、情報連携(医療DX推進)を図るとともに、セキュリティ対策の強化を行います。

### (4) 検診(健診)情報処理・管理

「各種がん検診」及び「生活習慣病予防健診」等のデータ処理を行います。

また、受検票の打出し、国のPHR(パーソナルヘルスレコード)事業や、実施主体の要望に応じたデータバンクの還元、協会けんぽ等への請求・報告データの受け渡し等、データ管理を適正に処理するため、システムのアップデートやセキュリティを強化します。

## 2 普及啓発事業

### (1) 広報活動

項目	内容
① メディア広報	がんや生活習慣病の予防と、検診（健診）の必要性を広く知ってもらうため、年間を通じて、テレビCM等を行う。
② インターネットの活用	ホームページ等、ネットの広報を充実させる。
③ nobiyaca	当協会の事業を紹介する広報誌を年2回（9・3月：各1,900部）発行し、市町村、事業所、会員等に配布する。
④ 協賛等	がんや生活習慣病予防の広報やイベントに協賛する。
⑤ がん征圧月間	9月の「がん征圧月間」に、がんに関する記事等を新聞掲載する。各報道機関に「がん征圧月間」を取り上げるよう依頼する。

### (2) 印刷物の配布、教材の貸し出し

実施主体へ、啓発用オリジナルリーフレットを無料配布します。また、賛助会員へ、教材の貸し出しとパンフレットを提供し、広くがんや生活習慣病に関する知識の普及を行います。

### (3) 講演

講演会やイベントへ講師を派遣し、がんを含めた生活習慣病の知識の普及を行います。

### (4) 出前授業

高校生以下の学生を対象に「出前授業」を実施し、若年層へのがんや生活習慣病の知識の普及を行います。授業形態は、訪問またはオンラインで行います。

### (5) 「検診担当管理職会議」の開催

主に市町村の管理職者を対象に、がん検診に関する講演や情報提供、事業説明について周知するために開催します。

### (6) 「がん検診担当者会議」の開催

実施主体のがん検診担当者を対象に、次年度事業に関する連絡及びがんに関する情報を提供するとともに、専門講師による研修を行います。

### (7) 「保健師・看護師がん検診情報研修会」の開催

主に市町村の保健師・看護師を対象に行います。実務の従事年数に合わせた研修内容を作成し、がん検診の基本や精度管理に関する知識の向上を図ります。

### (8) 会員

協会の趣旨に賛同される会員を募集します。

(参考)

	7年度会員数※	6年度会員数	5年度会員数
法人	205件	204件	202件
個人	530件	545件	562件

※令和8年1月31日現在

(9) 寄付

香典返しに代えての寄付など個人や、企業の社会貢献のための寄付を受付けます。

(参考)

	7年度※	6年度	5年度
件数	1件	3件	1件
金額	200,000円	298,235円	200,000円

※令和8年1月31日現在

### 3 保健支援事業

(1) プレスト・アウェアネス教室

市町村・事業所に職員を派遣し、乳がんに関する正しい知識及び乳房を意識する生活習慣（プレスト・アウェアネス）の普及を行います。

(2) がん予防電話相談事業

がんの予防や検診の知識普及のため「がん予防電話相談」を実施します。併せて、日本対がん協会の「がん相談ホットライン」の活用も紹介します。

(3) 特定保健指導

特定保健指導の実施率向上を目指す、国の「第4期特定健康診査等実施計画」に基づき、「動機付け支援」や「積極的支援」を実施します。

(4) 人間ドック受診者への健康支援

結果説明を踏まえ、健康維持や改善に向けた保健指導を行う等、健康管理を支援します。

(5) 精密検査受診勧奨

精密検査対象者が速やかに医療機関を受診するよう勧奨を継続します。また、実施主体を通して受診状況を確認し、精検受診率向上に努めます。

(6) 各種がん検診の予後調査

精度管理の一環として、がん罹患者の5年生存率及び10年生存率を把握します。

### 4 調査研究事業

(1) 事業年報等の発行

検診（健診）受診数及び精密検査受診状況を年報にまとめ、市町村や医療機関へ提供します。

(2) 論文・研究・学会発表

がん及び生活習慣病についての論文等を各種学会に発表し、医療の質の向上に役立っています。

### (3) 調査研究協力等

- ① 日本対がん協会に、がん発見率等のデータを提供し、全国統計の作成に協力します。
- ② 関連学会（消化器がん検診学会等）にデータを提供し、公衆衛生の向上に寄与します。

### (4) 技術研修会の主催

医療従事者を対象に、検診部位毎の症例検討会や勉強会を開催し、検診・診断技術の向上を図ります。

## 5 医療技術職の育成・援助

必要に応じて、医療技術職（診療放射線技師・臨床検査技師・看護師）の養成学校に在学する者に、修学資金を貸与することにより、医療技術者の確保及び資質の向上を図ります。

### Ⅲ 事業運営機器の整備

		備 考
検 診 車	胃がん検診車	JKA補助
乗 用 車	普通乗用車	
医 療 機 器	超音波診断装置 眼圧計 聴力計コントローラー フラットパネルディテクター 乳房エックス線撮影装置	
什 器 備 品	複合機 外付けハードディスク ルーター	
無 形 固 定 資 産	WEB問診システム WEB予約システム	
合 計	167,000千円	